

# 令和3年度 市民と市長の意見交換会 ふれあいトーク・レポート

住吉中学校区 令和3年11月24日(水)開催

ふれあいトークは、市長が市民の皆さまと地域の課題や市政について直接意見を交わ し、課題解決に向けての方向性や具体的な方策を確認することで、地域と行政の相互理 解を深めるとともに、市民目線での市政運営を進めることを目的に開催しています。

# ◆令和3年度のトークテーマ

トークテーマー~子どもたちの未来のためにできること~

トークの柱

『ここから発信! 住吉の魅力』

12年目を迎えた市長と市民の意見交換会「ふれあいトーク」。平成30年度からはトークテーマを 「子どもたちの未来のためにできること」とし、子どもたちの「教育」について各中学校区単位で意見交 換を実施しています。

# ◆ 市長から情報提供 とことん住みやすく、力強く発展するまちづくり

#### ● 地域の現状等を共有

- ①宮崎市でも人口減少が進んでおり、今後さらに人口減少が加速する見込みです。
- ・宮崎市全体の人口推移 平成27年 403.895人 ⇒ 令和47年 301.809人(25.3%減)
- ・住吉地域自治区の人口推移 平成27年 21.532人 ⇒ 令和47年 16.652人(22.7%減)
- ②若い世代の転出超過が大きくなっています。そのため魅力的な雇用創出と地元で活躍できる人材育成に 取り組んでいます。
- 宮崎市の年齢別の転入転出数をみてみると、15~19歳、 20~24歳で大幅な転出超過となっています。
- 市ではそのような現状に歯止めをかけるべく、企業誘致に よる新たな雇用の創出や、中学生を対象として県内企業を 紹介する体験型進学・就職イベントなどを実施しています。
- ③人口減少が進むことで、地域の課題がより複雑化、多様化 しています。
- 人口減少のスピードや高齢化率、歴史・文化は地域によっ て異なるため、それぞれの地域の特性に合ったまちづくり が求められています。



▲ 住吉中学校区の現状や課題、市が現在取り 組んでいる施策などについて、市長が説明

- ④地域には様々な組織や団体、行政機能があります。それぞれ連携し、特性を生かしたまちづくりを行い ましょう。
- ⑤地域活動への参加で、元気な地域コミュニティを次の世代につなげましょう。
- ・住吉中学校区での活動事例・・・虹のかけら、文化祭での餅つき、住吉未来探求所 等

## ◆ フリートーク

### ● トーク参加者からの意見

- ・未来の社会に向かった住吉のまちづくりについて、中学生とともに活動を 進めたい。
- 小中高生の声を拾う場があると、地域の課題解決に繋がるのではないか。
- ・子どもによる地域貢献活動の一環である「住吉未来探求所」の活動はとて も良い活動であるので継続してほしい。
- ・公園周辺や通学路など、場所によって暗い場所があり、改善できるとより 住みよいまちになる。
- ・地域コミュニティの対話が大事である。令和の時代においても住みよい地域にするための対話を続けていけるとよい。また大学や企業との連携も図れるとよいのではないか。
- 交通安全を高めるマナーが大切だと感じる。住吉地域で製作した子ども手作りの交通安全看板は効果が期待できる。



# ● 中学生からの意見

- ・地域の魅力は、地域の方があいさつをしてくれること、初対面でも優しく してくれたこと、見守り隊が心強いこと、公園で様々な地域の方と交流でき ることである。
- 公園や教育施設、飲食店が充実していて住みやすい。
- ・地域の課題として、ゴミが落ちていることがある。
- ・住宅地が多く、あいさつを交わすなど、地域の方とのコミュニケーションを取ることができ嬉しい。中学生が作った葉書を高齢者宅へ届けるボランティアを行い、心が通じ合うきっかけづくりを行っている。
- ・未来の住吉のためにSDGsに取り組みたい。地域活動やイベントにも積極的に関わっていきたい。
- あいさつを交わせる地域になれば、防犯や安全面でもよい地域になると思う。





## ● 傍聴者からの意見(アンケートより)

- 人間関係の基本は挨拶です。地道に根気良く、指導を続けて欲しい。
- ・子ども達が高齢者との絵手紙交流を楽しみにしている事大変嬉しく思う。住吉地区社会福祉協議会の事業だが、とても心あたたまる絵手紙を届けて頂き、地区社協としても元気をもらっている。
- ・JRCの活動や、ボランティアについて沢山の話題がでたので、その話した内容を生かせるような機会をつくっていきたい。

# ● 市長からの回答、感想

- SDGsの視点で「ゴミを捨てない住吉」を目指してみてはどうか。
- ・住吉地域がこれまでやってきた活動や想いは、子ども達がしっかりと受け取り、前向きに活動を続けていることが分かった。
- 中学生には、次の住吉を担ってほしいと期待している。